

大代

婦人会だより

No.196

R3.2.12

新年

明けまして

おめでとう

ございます。

本年もよろしく
お願いいたします。

婦人会長

佐藤京子



この婦人会だよりは一月に発行予定でしたが、新型コロナウイルス感染症のために集まれず二月の発行になりました。ご了承ください。本年は新型コロナウイルス感染症の為に正月を故郷で過ごすことのできないご家族もおられたのではないのでしょうか。年末にかけて感染者が増え、年末年始は静かに過ごして欲しいとの通達。

ご家族を県外にお持ちの方は家族と会えない新年は淋しい年明けになられたと思います。

婦人会活動も昨年一年間は活動を自粛してまいりました。福祉弁当、敬老会、文化祭と軒並みの中止となり、支部長会も春には中止をし、新型コロナウイルス感染症に対応してきました。

今もなお、感染者の数は増え続けており、改めて「三密」を避けて日常的な「手洗い・うがい・マスク」を徹底していくことで、本年県外の皆様、町内の皆様とふれ合える行事を楽しみにして日々を過ごしたいと思えます。

今話題の田口久人さんの著書に「きつと明日はいい日になる」の文章を書かせていただき、本年皆様に幸せが訪れますようにお祈り致します。

「すごいことをしなくていいからできることをやりなさい」ためらう理由はいくつでも見つかるからまずはやってみなさい

自信を持つとするとするよりも

自信をなくさないように

大変なときこそ慌てないように

不幸せなときは自分を責めず

ひとりでがんばろうとせず

幸せなときは当たり前前に感謝し

一番大切な人を大切にしながら

誰かに遠慮しなくていいから

まずは自分が幸せになりなさい」



副会長

竹間初美

令和三年初春のお慶びを申し上げます。

いつも婦人会活動にご協力を頂きありがとうございます。昨年は世界的な新型コロナウイルス感染症拡大により、ほとんどの行事が中止になり、都市交流、敬老会、運動会のお手伝いもできず、文化祭でのバ

ザーや野菜品評会も行えず残念に
思います。今年にはいつてからも新
型コロナウイルス感染症は収まら
ず広がるばかりで不安な毎日が続
いています。

「パンデミック、ロックダウン、
ソーシャルディスタンス、ステイホ
ーム、テレワーク、クラスター」な
どと聞きなれない言葉があふれ、戸
惑うばかりです。

どのご家庭でもお子さんたちの
遠方からの帰省もできず、寂しいお
正月だった事でしょう。

自粛生活が続ぎ、この冬の寒波と
重なって体調を崩さないようお気
をつけください。

一方新型コロナウイルス感染症
のワクチンの開発も進み近々日本
にも入ってくるようで、希望の光も
見えてきました。早く通常の生活に
戻り、皆さんと一緒に婦人会活動が
できる明るい年になりますよう願っ
ております。

本年もどうぞよろしくお願い申
し上げます。

近況報告 ①

飯谷支部 竹内節子



「何を書こうかな」と
考えているうちにもう十一月に入
り、報恩講の案内をいただいて一年
の早さを感じています。

今、大江高山は色とりどりに紅葉
していて、夕陽に照らされると山は
とてもきれいです。

また飯谷地区には空き家が増え
て、家の灯りより、外灯の灯りのほ
うが多く感じます。

この先どうなるのかと心細くて不
安です。こんな人口の少ないこの飯
谷に団体でお越しになるのがサル
サルを家の前で見張っていると、
何と！家の後ろからやってきました。
何とかなりませんかねえ。

せっかく上手くできた野菜を荒ら
されて、サルたちのする悪さに腹を

たてながら、その片付けをしている
昨今。

毎日が平凡な繰り返しですが、今
年も元気で居られた事に感謝しな
がら、来る令和三年は新型コロナウイルス
感染症が収束になり、おだや
かな生活ができるように祈ってお
ります。

(原稿は昨年十一月中にいただい
たものです。)

近況報告 ②

今 歌を 声掛けを・

下市支部 田辺幸子



二月四日(木)のえびすの会は、
「敏と保」の歌謡コンサートでした。
大代では三回目の開催と聞きました
が、原・佐藤先生お二人の心に沁
みる歌声に聞き惚れました。

恥ずかしながら、その昔、音楽(音

が苦)を担当した事のある私。ひとりで二人に合わせ懐メロを楽しんでいる私がいきました。

歌は曲に乗せて、言葉を人の心に届ける大きな力を持っているのは確かです。大きな口を開け、堂々と思う存分歌える世界が戻って来てほしいとつくづく思います。マスクをしての歌は、命を守る為とは言え心寂しい限りです。

そして、お互いに「おはよう」「さようなら」「ごめんなさい」「お休みなさい」「お元気で」と気兼ねなく声を掛け合う世界が戻って来てほしいと思います。

久し振りに、大代婦人会創立五十年記念誌を手にとってみました。あれから四半世紀、顔を見ることができなくなった方が沢山いらっしやいます。

それから毎朝、前のガラス戸を開ける度に、大家の大通りを眺めます。人っ子ひとり通りません。二匹の猫が、私の顔を伺いながら、横切っ

て行きました。大代もー。

思い出します。あの賑やかだった十夜の祭りを。

私も卒寿を迎えます。明日の日も分らない私です。尻に火が点いても走り出さない私になりました。この原稿もしかり。催促されて初めて届ける始末です。

でも生きている限り何とか頑張ります。

近況報告③ 毎日の散歩・3B体操

上市支部 横田美恵子



いつも私を見かけた方が開口一番に言われる言葉は、

「毎日何してる?」「と、「元気でいますよ。」と笑う私。

「コロナ禍のなか、家からまったく出ない巣ごもり生活も、健康に良くないので何とかしなくちゃと一念発起。元来、運動は苦手、好きでやっている事は動物等の飼育、(外

猫2匹、めだか、2匹の家犬)観葉植物とお菓子作りと多彩で結構毎日忙しく過ごしていますが..。

先日、新型コロナウイルス感染症で中止となっていた3B体操が始まり参加しました。久し振りに集合された皆さんはとても嬉しそうでお互いに「久しく見なかったけど元気だった?」「それからはお互いの近況をペチャクチャ..。先生が「久し振りに会って嬉しい気持ちには分かりますが、体操をはじめました。か?」と言われるまで続きました。やっぱり「人って一人では生きて行けないのだな」と思いました。

そして毎日のお散歩を始めました。午後3時から50分位歩きます。5歳の孫が言います。「人間のお散歩に行くの?犬のお散歩?どっちなん?」笑 お休みの日は一緒に..。

久し振りの3B体操も、毎日のお散歩も家にこもっている私には、とってもよかったです。皆さんも気分転換になりますよ。運動をして元気でいきましょう。

★頭を悩ます

この言葉ってなあに？②

最近、よく耳にする言葉だけでなく、何かいな？ 2回目の今回は竹間初美さんの原稿から抜粋してみんなで考えてみましょう。

- ・パンデミック＝世界的流行
- ・ロックダウン＝危険や差し迫った脅威などを理由に建物やエリアに出入りを制限する事(封鎖)
- ・ソーシャルディスタンス＝自分だけでなく相手への感染を防ぐため、しいては日本全体の感染拡大を防ぐために社会的距離と人的接触距離の確歩の事
- ・ステイホーム＝家に居る、家に居よう、家に居ろという事
- ・テレワーク＝情報通信技術(ICT)を活用した時間や場所にとらわれない働き方の事(在宅勤務)
- ・クラスター＝集団感染
- ・オーバーシュート＝爆発的な患者の増加の事

＝俳句＝

あすなる句会



椿支部 花田時子

大寒や長き病の女逝けり
老いし我外出少なく寒の内

下市支部 今田文子

寒の入り我が牛飼ふ夫の留守
大寒や日射し賜はり笑顔かな

川上支部 岩田律枝

大寒や停電気づかふ日の続く
一病と付き合ひ寒明け待つばかり

上市支部 横田美恵子

仕合せや揃って迎えし今朝の春
鳴るたびに皆が集まる雪おこし

椿支部 柿丸寿枝

雪晴れや深き空舞ふ鳶の笛
寒うらら果なく晴れて昼の月

▼編集後記

皆様お元気で過ごしてはいかがでしょうか。大代も積雪がある新年を迎えました。新型コロナウイルス感染症も、毎日テレビで報道され、オリンピックの開催もどうするのかと心配されています。ワクチン接種ももうすぐ始まるようで希望の光が見えてきました。早く終息してほしいものです。

これからもなるべく人ごみに出ないよう外出を控えて命を守りましょう。

本年も皆様のご寄稿とご支援をよろしくお願いいたします。

